

### 第3回 リサイくるくる探検隊 資源のゆくえを追いかけてよう！

2022.8.6

資源として出された、あきびん、あきかん、ペットボトル、トレーのゆくえを追いかけてきました。資源が最初に集められるリサイクルの中間処理施設です。私たちが資源の日に出した物を、本当に資源にするには、きちんと分別しなくてはなりません。飲み物、食べ物の容器などが洗われずに出されているためにイヤなおいが出ていることも知りました。私たちが、資源をリサイクルするときにはできることは、「きれいにして出す」と「分別して出す」です。もう一つ大切なことは「再生品を使う」ことです。再生品とは、資源をリサイクルして作った品物のことです。一生懸命資源を集めてたくさんの再生品を作っても、私たちが再生品を買わないとリサイクルは完成しません。再生品を使うところまでを私たちが実行して、リサイクルをやったということになるのです。リサイクルは協力ではなく、一人ひとりの参加です。

そしてリサイクルよりも大切なことがあります。何度でも使えるものを選ぶことです。資源をリサイクルすることは大切なことですが、リサイクルは魔法の言葉ではありません。リサイクルにはたくさんの手間とエネルギーを使います。たった1回使っただけでリサイクルに出してしまうペットボトルやワンウェイビンはできるだけ使わずに、自分で水筒に飲み物を入れて持ち歩くことが一番大切なことです。



### 第4回 まちなみウォッチング マイクロプラスチックってなに？

2022.8.21

マイクロプラスチックは海岸や河口、海の中に浮かんでいる5mm以下の小さなプラスチックの破片です。マイクロプラスチックのもととは、みなさんが毎日の生活で使っている、ペットボトルやレジ袋、コンビニのお弁当の空き箱、お菓子の袋など、ほかにも生活の中にあふれている、使い捨てプラスチックです。とくにペットボトルが問題です。こども環境委員会では、ペットボトル飲料と、ペットボトルをいつでもどこでも買える自動販売機について、調査しました。1時間で歩いてまわれる範囲に、いったい何台の自動販売機があるか？そんなにたくさんの自動販売機が、必要か？私たちが望んでいることは何か？を考えました。

私たちが自動販売機を今までのように使い、ペットボトルを今までのように買い、世界中の人がたくさんのプラスチック製品を今までのように使い続けているのは、何も変わりません。水とうを持ち歩き、ペットボトルの飲み物を少なくする。自分の水とうに、飲み物を入れてくれるお店や給水機を増やしてもらおう。使い捨てプラスチックを使わないように、自分の生活を見直すことが大切です。そして、世界の中で、プラスチックを減らすことに対して、日本がとても遅れていることを知らなくてはなりません。自分はどんな社会を望んでいるのか、答えが出なくても考えることがとても大切です。



### 第5回 グリーンコンシューマーになろう

2022.9.19

環境を考え、環境を大切に行動する消費者がどんなことに配慮しているのかを知りました。実際の買い物では、考えることがたくさんありました。通信に詳しく書いています。環境問題の一つであるごみ問題は「選ぶ」＝「買う」という行動によっておきています。買うときに考えれば、ごみになるものを減らすことができます。お金の使い方も大切です。すぐにごみになるものを選んだり、食品を食べずに捨ててしまうことは、お金を捨てていることです。

私たちは毎日、いろいろなコトやモノを「選ぶ」ということをしながら生活しています。食べ物や洋服や文房具を買うとき、何を買おうかと選んでいます。遊びに行く時にも、車で行くか電車で行くか、自転車で行くか歩いていくかを選んでいます。何をを選ぶかによって、環境への影響が大きくなったり小さくなったりします。「エシカル消費」という言葉があります。社会問題や環境問題の解決に取り組む会社や団体の製品やサービスを選んで消費する考え方です。そんな会社や団体の商品を買って、応援することが私たちにできます。

「スーパーで 地球のことを考えよう」今日分かったことを、親と一緒に行くときに、言って買い物をしたい」などの感想がありました。考える、他の人に伝え広げていく、その行動こそグリーンコンシューマーです。



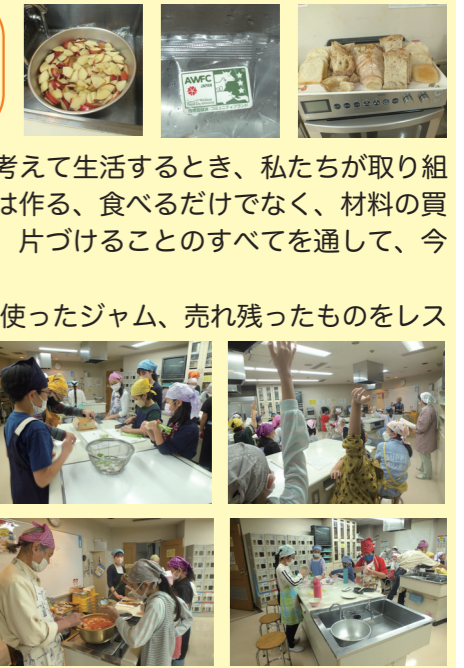
### 第6回 作って食べよう！エコクッキング

2022.10.23

エコクッキングは環境のことを考えて料理などをする事です。環境のことを考えて生活するとき、私たちが取り組みやすいのが料理です。食べることは、みんなが毎日することだからです。料理は作る、食べるだけでなく、材料の買い物や使った物の後片付けも必要です。エコクッキングは、買う、作る、食べる、片づけることのすべてを通して、今日知った「ちょっとずつ気を付ける工夫」を実行し続けていくことが大切です。

今回のメニューは、ちょっと見栄えが悪くて流通ルートに乗らない紅玉りんごを使ったジャム、売れ残ったものをレスキューしたパン、有機栽培の蕪や大根の葉も使ったスープ、アニマルウェルフェアに配慮した豚肉ハンバーグでした。傷があっても、焼きたてでなくても、作る人の思いが伝わるものは美味しかったと思います。「初めて食べた蕪の葉っぱが美味しかった、家でも食べるようにしたい」「食べものを大切にしないとイケないと思った」「使った食器を洗う前に、汚れを拭いた方が良かった」と、これから実際に行動できそうなことを見つけれられたようでした。

現在は十分に食べている私たちが、将来も十分に食べていけるかどうか分かりませんが、「毎日おにぎり1個捨ててはいけない」と食品ロスに対する意見も出ていました。毎日の行動に変化が現れることを期待しています。



### 第7回 私たちが目指す「プラスチックフリー」の世界

2022.11.20



ここ数年、世界中でそして、こども環境委員会でも大きなテーマの一つになっている海洋プラスチックごみ問題。今回は、プラスチックごみの多さに気づき、それを減らすための行動を起こしたニューヨークの小学生たちの活動を追ったドキュメンタリー映画「マイクロプラスチックストーリー〜ぼくらが作る2050年〜」を見て、参加者同士で意見交換をしました。靴の中のプラスチックを調べて、必要か不要か、他の素材でも良いかプラスチックでないかダメかなども考えました。

「米国のこどもたちの様に市（区）に言うまでは出来なくても、学校の人などに言って、プラスチックフリーの第1歩にしたいと思う」「米国のこどもたちのように何か1つでも行動を起こしたいと思った。自分で出来る事から初めて大きな行動につなげたい」「プラスチックでなくてもいいものは変えれば良いと思う」「プラスチックを買うときにお金を払い、捨ててまたお金を払うので2倍払うことになる」「今日知ったことを知り合いにも伝え、行動し、未来の私たちに少しでも楽に生活してほしい」

初回から少し時間をかけて話し合うことを続けていますが、上記の感想から分かるように、徐々に、考えをまとめて話すことができるようになり、どんどん自分の考えを人に伝えることに慣れてきています。



### 第8回 雑木林で木こり体験（八王子自然体験）

2022.12.11



「東京都八王子戸吹北緑地保全地域」で「戸吹北森を守る会」の方々から指導を受けながら、雑木林と生態系の保全活動のお手伝いをしました。今回は、自分の身長よりも高いアズマネザサという下草の刈り込み、落ち葉かき、落ち葉溜プール遊び、間伐など、どれも新鮮でした。自分の背丈よりも長い熊手を使い、半袖Tシャツで頑張った落ち葉かきはカブトムシの幼虫を育てるプールを満杯にしました。満杯のプールでダイビングやトレインをみんなで楽しんでいました。「楽しかった」「伐るものによってノコギリが違うことにびっくりした」の感想や、「斜面がきつかった」「腰が痛かった」と COVID 禍での運動不足を同感する感想もありました。

森林には多くの役割があります。土砂災害を予防してくれたり、ダムのように水をためてくれます。多くの生き物がその中で生きているし、私たちに資源を提供してくれます。木は成長する中で、人間の生活が出す二酸化炭素を吸収して、私たちが必要な酸素をはき出します。きちんと手入れされた森は健康で生態系も豊かになります。戸吹北緑地でも絶滅危惧種と指定されている貴重な生物が沢山生きているそうです。一度人間が手を入れた森は人間が面倒を見る必要があります。そして、自然との付き合いは続けることがとても大切です。機会を見つけてまたやってみましょう。

